



<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし



議会報告レポート第29号

45歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B

TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

5年前の東日本大震災当時を振り返ってみると、3月11日は鴻巣市議会の一般質問2日目がおこなわれていた日でした。私は議会終了後、4月の市議会議員選挙に向けてバックにチラシを詰め込んでいたまさにその時！今まで経験したことのない大きな揺れが数分間。

お店のガラスが割れる中、消防団の分団小屋に走りました。機関長(運転手)である私は、信号機が消えて交通誘導されていない中を火災現場に急行し、分団の担当地域を数時間かけてまわりました。

日が暮れて分団小屋に帰る途中、大勢の人が近くの小学校へ入っていくのが目に留まりましたが、それらの方が駅からの帰宅困難者だと知るのにはあまり時間がかかりませんでした。

電話も無線も使えない状況下で、学校に多くの避難者がいることを災害対策本部の市役所に伝え、消防団の照明灯を避難者が待つ体育館へ持ち込みました。真っ暗闇に電気が点いた瞬間に大きな歓声と同時に、あまりにも多くの方がところ狭しと肩を寄せ合い避難していたことを理解しました。

かなり渋滞していたと思いますが、ご家族など迎えの車で多くの方が帰られても翌朝にはまだ30名ほどが帰宅できずにいた状況が思い出されます。

今年度は新たな委員会として「警察危機管理防災委員」、特別委員会として「危機管理・大規模災害対策特別委員」に所属が決まりました。また、消防団員も20年目になりましたので、地域の細かな課題を見つけ災害対策の強化に取り組みたいと思います。

* 道路啓開 * 緊急輸送道の確保 * 橋りょうの耐震 * 治水対策 * 情報システム

* 上下水道管の耐震化・整備 * 排水機場の維持補修 * 消火栓・防火水槽の整備 など

全国の消防団員数は昭和40年頃に130万人を上回っていましたが、平成に入る頃には100万人になり、現在では87万人余りです。鴻巣市でも消防団員の不足が続いています。ぜひ、一緒に地域活動しませんか？

